

輪之内町 水害ハザードマップ



【発行】輪之内町 危機管理課 TEL.0584-69-3111 (平成30年3月作成/令和3年5月改訂)

わが家の防災メモ

わが家の避難先	家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

家族がはなればなれになった時の集合場所

緊急時の連絡先

名称	連絡先	名称	連絡先
輪之内町役場	0584-69-3111	大垣警察署	110
大垣消防組合	119		

インターネット等による情報の入手先

輪之内町役場	岐阜県総合防災ポータル	岐阜県防災	岐阜地方気象台	木曽川上流河川事務所	木曽川上流
●輪之内町の最新情報など http://town.wanouchi.gifu.jp/	●岐阜県の防災、災害時の情報ポータルサイト http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/	●岐阜県内の気象予報、防災情報、観測情報など http://www.jma-net.go.jp/gifu/	●木曽川水系のライブカメラなど、河川の最新情報を提供 http://www.cbr.mlit.go.jp/kisoyo/		

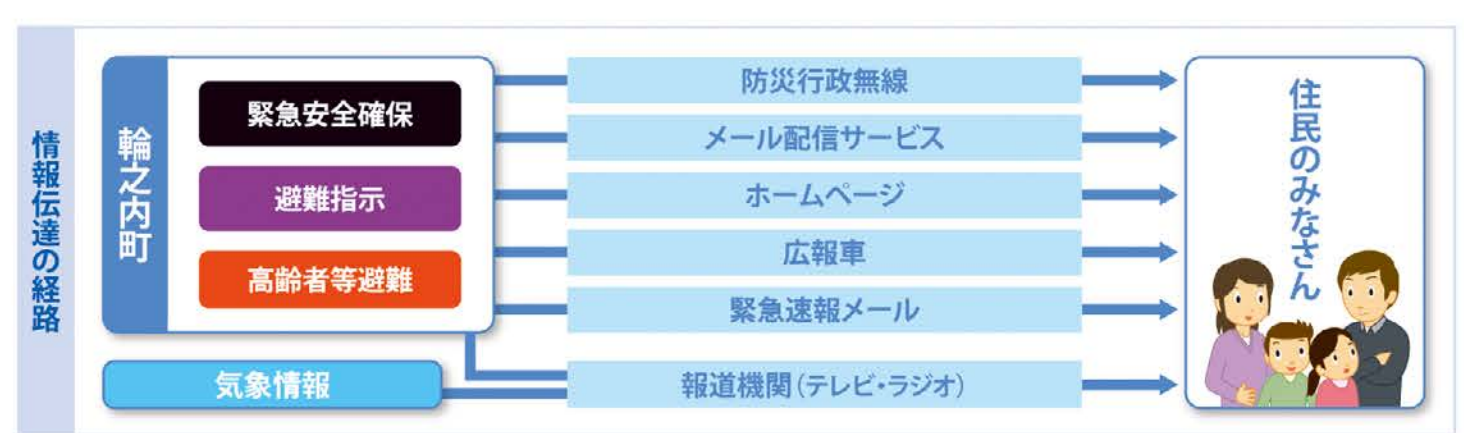
メール配信サービス等

輪之内町メール配信サービス 登録用メールアドレス: t-wanouchi@sg-p.jp
地震、台風などの自然災害についての防災情報を、電子メールでみなさんに配信します。ご利用には事前の登録が必要です。上記アドレスに空メールを送信し、返信されるメールの案内に従って登録(右のQRコードからも登録可)してください。

ぎふ川と道のアラームメール 登録用メールアドレス: t-gifu@sg-m.jp
ご希望地域の大雨、洪水、道路規制情報を電子メールでみなさんに配信します。ご利用には事前の登録が必要です。上記アドレスに空メールを送信し、返信されるメールの案内に従って登録(右のQRコードからも登録可)してください。

輪之内町の防災体制と情報伝達の経路

輪之内町では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときは「災害対策本部」を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発表します。



避難情報の種類と、とるべき行動

令和元年から、避難情報等や防災気象情報の意味を直感的に理解できるように、5段階の警戒レベルに分類しています。さらに、令和3年5月20日から、避難情報等の名称を変更するとともに、とるべき行動も明確化されることになりました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報(気象庁が発表)	避難情報等(町が発令)
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警戒	緊急安全確保
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警戒洪水警戒	高齢者等避難
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

大雨・洪水に関する注意報・警戒

次のような場合に、岐阜県気象台から「注意報」「警戒」「特別警戒」が発表されます。

大雨特別警戒
「警戒」よりもはるかに高い危険度
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
「洪水」は、全道約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警戒の設定はありません。

大雨・洪水警戒
重大な災害が発生するおそれがある
大雨により、重大な浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。
大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。

大雨・洪水注意報
災害が発生するおそれがある
大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。
大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。
「特別警戒」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

長良川 浸水想定区域

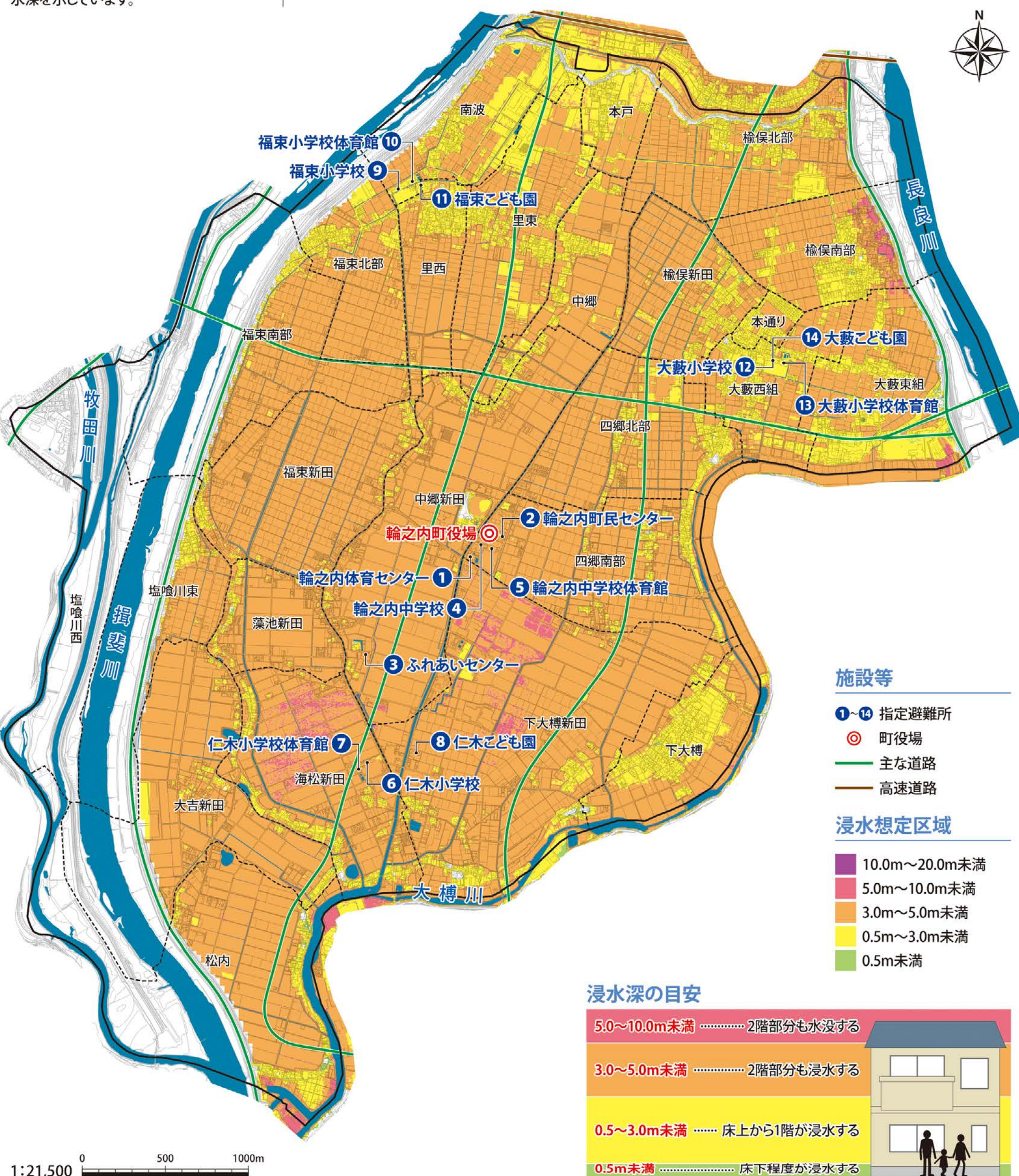
長良川の流域で想定される洪水浸水想定区域と浸水深

計画規模

この図は、長良川の流域で、100年に1回程度の確率で発生する降雨があった場合に想定される、洪水浸水想定区域および浸水深を示しています。

- ①降雨条件: 12時間総雨量243mm
- ②作成主体: 国土交通省中部地方整備局

実際の降雨や地形の利用状況などにより、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



揖斐川 浸水想定区域

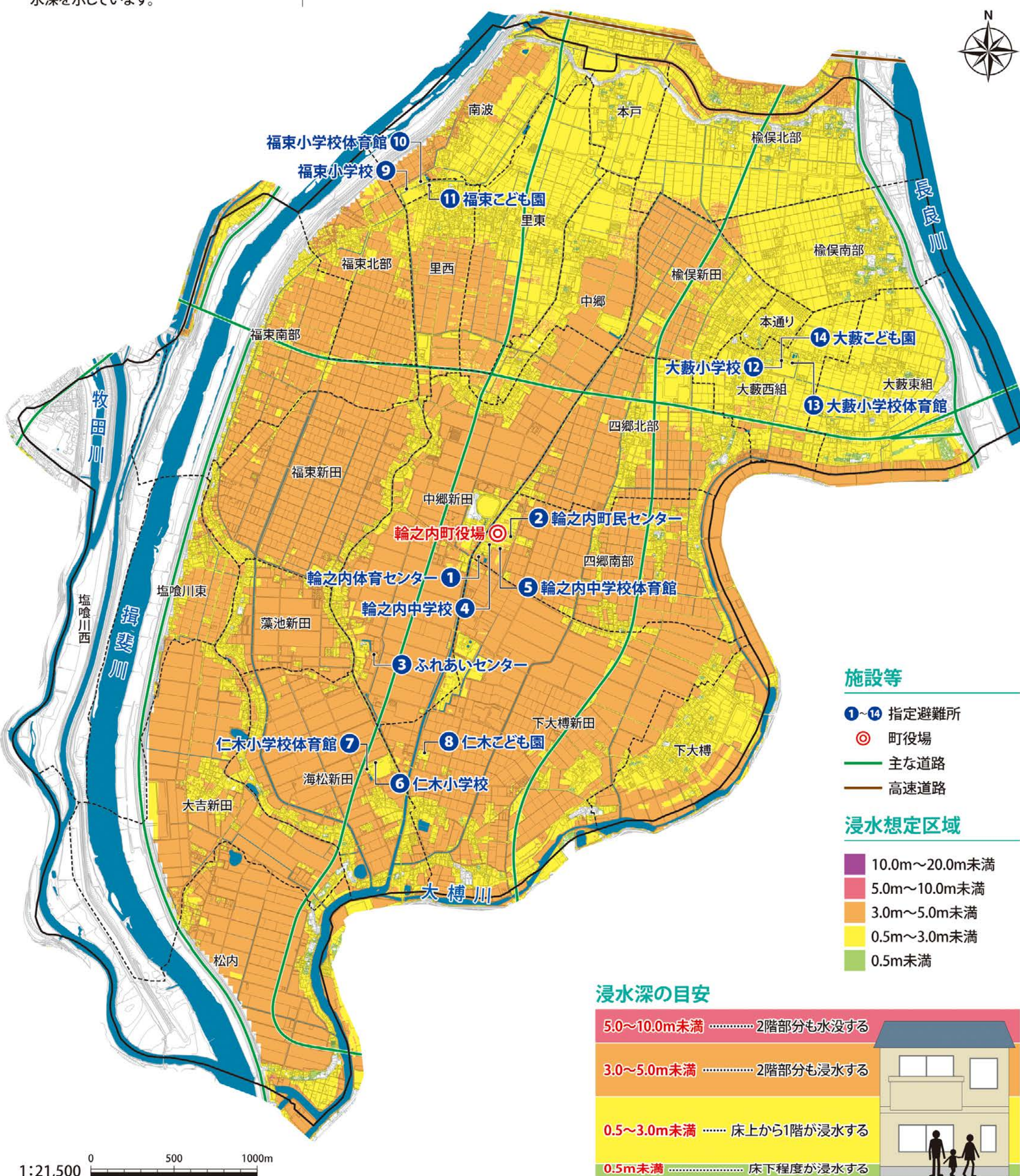
揖斐川の流域で想定される洪水浸水想定区域と浸水深

計画規模

この図は、揖斐川の流域で、100年に1回程度の確率で発生する降雨があった場合に想定される、洪水浸水想定区域および浸水深を示しています。

- ①降雨条件: 2日間総雨量395mm
- ②作成主体: 国土交通省中部地方整備局

実際の降雨や地形の利用状況などにより、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



風水害への備え

台風や大雨による家屋の被害を抑えるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

外壁
●モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ
●植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック
●傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

屋根・雨どい
●不安定なアンテナはありませんか
●トタンがめくれている箇所はありませんか
●瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
●雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか

板塀
●板塀に腐りや浮きはありませんか
●板塀に支柱はありますか

排水溝
●側溝や雨水溝にゴミや土砂はありませんか

窓
●窓枠がたつつきはありませんか
●雨戸にたつつきはありませんか

その他
●ガスボンベは固定していますか
●商店などでは看板のぐらつきはありませんか
●ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
●庭木には添え木をしていますか
●窓ガラスが飛散しないよう対策をしていますか

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土の(無い場合は水のう)を設置することで、水が建物へ浸入するのを防ぎます。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。

簡易水防工法例①
プラッター+ビニールシート
土を入れたプラッターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

簡易水防工法例②
簡易水のう+止水板
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入口に設置し、浸水を防ぎます。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

危険な避難 (Red X)
避難場所への早めの避難(水平避難) (Green check)
高所への避難(垂直避難) (Green check)

例えば下記のような場合、屋外への移動は危険です
●夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
●ひざ上まで浸水している(50cm以上)。
●浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
●浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

垂直避難を行ってください
浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

非常持ち出し品チェックリスト
災害が発生したときは、すぐに避難しなければなりません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

- 飲料水
- 非常食(乾パン・缶詰など)
- ヘルメット、防災ずきん
- 現金(小銭)
- ろうそく、ライター
- ナイフ、缶切り
- 準備品の水と非常食は、最低3日間分(できれば1週間分)用意しておきましょう。
- 健康保険証
- 懐中電灯・携帯ラジオ
- 予備の電池
- 筆記用具
- 包帯、ガーゼ、絆創膏、常備薬
- 携帯電話と充電器
- 手袋、軍手
- ポリ袋(ビニール袋)
- 衣類・下着類
- タオル
- 毛布
- ほ乳びん、紙おむつ
- メガネ等
- キッチン用ラップ
- 紙コップ
- 生理用品

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

状況により、すばやく避難
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

車での避難は控えて
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車の避難は危険です。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。